

注意！！

クビアカツヤカミキリ

見つけたら大至急ご連絡を！！

- 本種は本県未確認（**隣県での発生あり**）の**特定外来生物**で、果樹類やサクラでの被害が懸念されています！



成虫

(写真提供 福島県農業総合センター果樹研究所)



被害の様子



排出されたかりんとう状のフラス

<特徴>

●成虫は22～38mmで胸部が鮮やかな赤色、頭部・腹部は黒色でツヤがある。

●幼虫は樹の中で2～3年過ごし、成虫は6月～8月にかけて発生する。

●**モモの大害虫**で発生地では壊滅的な被害が発生している。他にウメ、スモモ、オウトウ、サクラなども加害する。隣県では、直売・自家消費目的の小規模な果樹植栽地（スモモやウメ）での初被害が確認される事例がある。

●樹体内部を食害し、大量のフラス(木くずと糞が混じったもの)を排出する。フラスの特徴はかりんとう状である。

確認年	確認地域（13都府県）
2012年	愛知県
2013年	埼玉県
2015年	群馬県、東京都、大阪府、徳島県
2016年	栃木県
2017年	和歌山県
2019年	奈良県、茨城県* 三重県*
2021年	神奈川県*
2022年	兵庫県

(2023年8月現在、*は農作物被害がないため特殊報発表なし)

★クビアカツヤカミキリを見つけた場合や発生が疑われる場合は、最寄りの農林事務所農業振興普及部・農業普及所または農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）（024-958-1709）までご連絡ください。